

水道事業の安定化について



木村 博(公明党)



問 人工衛星とAIによる水道管の漏水調査を行うことにより、調査期間の短縮と経費の削減が図られたという報告があるが、本市の見解を伺う。

答 本調査は、衛星画像データとAIで解析し、漏水可能性区域を抽出するもので、技術の向上や全国的な普及により、漏水発見の精度やコストの削減が図られていることから、導入について調査研究していく。

問 県営水道の受水に伴う余剰圧力を利用した小水力発電施設の設定について民間事業者から提案があったと聞いているが本市の見解を伺う。

答 水道事業へのリスクを充分に考慮し、市民の安全・安心の観点を総合的に判断した上で、歳入確保の観点からも今後積極的に検討していく。

【その他の主な質問】

○新ごみ処理施設整備運営事業について

○下長野用水路改良後の道路整備について

○学校部活動の地域移行について

5歳児健診支援事業について



大屋 彰(公明党)



「5歳は、社会性が高まり、発達障害が認知されやすい時期であること等を踏まえ、乳幼児の発育・発達や健康の維持・増進、疾病の予防、悩みを抱える保護者等の早期発見や支援、児童虐待の予防・早期発見等の観点から、5歳児健診検査の実施に係る支援を進め、全国展開を目指す。」と5歳児健診ポータルにて周知されている。

問 本市での5歳児健診の取り組みは。

答 5歳児健診は母子保健法に規定する乳幼児健診に位置づけられていないことから本市では現在実施していない。

問 国の動きとして5歳児健診の全国展開が図られる社会を2028年度目指す、とあるが本市の考えは。

答 専門職の確保と、健診で指摘をするだけでなくその後適切な支援ができるかが重要になる。2028年度を目指すのではなく、早期に体制整備ができるように取り組んでいきたいと考えている。

敬老お祝品引換事業について



福島 ともお(令和研究会)



問 「敬老お祝品引換事業」についてどのような内容及び目的なのか。

答 本事業は、高齢者に対して敬老の意を表するとともに、地域経済の活性化を図ることを目的に、令和7年度から新たに実施するもので、75歳以上の高齢者を対象として、市内店舗等で700円相当の商品や食事等と引換えができる引換券を贈呈する。

令和6年度に75歳以上の高齢者を対象として実施した古代蓮会館の入館及びお買物チケットの贈呈について、市民の方からの「古代蓮の里まで行く移動手段がない」といった声を踏まえ、事業内容を検討して見直し、令和7年度に新たに実施する。

引換券と交換可能な商品や食事等を写真つきで掲載したパンフレットを作成し、75歳以上の高齢者全員に引換券と合わせて郵送する予定である。高齢者優待制度と併せて周知することで、多くの高齢者の方にご利用いただけるよう努めていく。